

Tomoki Takahashi Quartet <Guest> Noriko Suzuki

高橋知己 4



高橋知己 (ts.ss) Tomoki Takahashi

1950年8月12日北海道常呂町生まれ。

'72 自己のカルテット(寺下誠p、米本康志b、守新治d)で新宿PIT INNIにデビュー。'70年代は自己のカルテット(元岡一英p、大越治夫b、藤井信夫d)の他、向井滋春5、古澤良治郎グループ、森山威男4等で活動。'79 初リーダー作「TOMOKI」'80 第2作「Another Soil〜Tomoki Meets Elvin Jones」を発表。80年代になり、古澤良治郎&リー・オスカー・バンド、今村祐司(per)との双頭バンドを経て'83渡米。E. Jonesと「Village Vanguard」に出演する。帰国後、E. Jones Japanese Jazz Machine('84〜'90)、渡辺文男5、寺下誠4等に参加し、さらに元岡一英と北海道バンド('84〜'93)を結成、活動する。北海道バンドで'89「Visions」'91「5 Minutes Ago」'92「Quite A Dance」を発表。90年代になり、'95「Perhaps」高橋知己3、'97「Make Someone Happy」高橋知己4フィーチャリング 渡辺文男、そして'00「Nothing Like You」高橋知己4、'02「Reconfirmation」高橋知己&清水くるみ(p)DUO、'05「Blues To Elvin〜Tribute To Mr. Elvin Ray Jones」高橋知己4、'07「Nothin' But Coltrane」高橋知己4 を発表、ツアーをする。現在は、自己のカルテット(津村和彦g、工藤精b、斉藤良d)の他、渡辺文男グループ、山崎弘一4、清水くるみ(p)とのDUO、紙上理グループ、その他数々のセッションで活動中。'09「Feeling Good」高橋知己4 '11「Lady In Satin」高橋知己4 '13「Smile Please」高橋知己4 '15「In A Sentimental Mood」紙上理Ellingtonian 7 '16「Wise One」高橋知己4(guest 鈴木典子)を発売！



AKETA'S DISK MHACD-2649

好評発売中！◆ 高橋知己 アケタディスク

生田さち子(p) 工藤 精(b) 斉藤 良(ds) 鈴木典子(vo)

この『WISE ONE』ははからずも一昨年2015年急逝したギタリスト津村和彦へのトリビュート作になった。本アルバムを 津村和彦の追悼アルバムとすべくゲストに津村夫人でヴォーカリストの鈴木典子をゲストに迎え入れてこのレコーディングを行ったのである。 乞うご期待!!

ミルキーウェイ 2017年2月25日(土)

開場 18:00 / 開演 19:00

前売 ¥4,000・当日 ¥4,500・学生 ¥3,000

(いずれも1ドリンク・税込みの金額です)

■ 前売チケットあります ■ 電話での予約も承っております ■ 当日はお食事出来ます ■ 詳しくはスタッフまで

ミルキーウェイ 川越市志多町17-2 049-222-1101 <http://www.milkywave.net>

..... MILKYWAVE 営業時間 / Open 11:00 A.M. ~ Close 10:00 P.M. 定休日 / 月曜日(祭日除く)

Tomoki Takahashi Quartet

text by Yumi Mochizuki 望月由美 (FM番組の企画・構成・DJと並行し1988年までスイングジャーナル誌、ジャズ・ワールド誌などにレギュラー執筆。フォトグラファー、音楽プロデューサー。自己のレーベル「Yumi's Alley」主宰。『渋谷 群/エッセンシャル・エリントン』でSJ誌のジャズ・ディスク大賞・日本ジャズ賞受賞。)

AKETA'S DISK MHACD-2649 ¥2,667円＋税

高橋知己 (ts,ss) 生田さち子 (p) 工藤精 (b,elb)

斎藤良 (ds) guest: 鈴木典子 (vo)

1. Teo (T.Monk)
2. Wise One (J.Coltrane)
3. Beyond [For Tsumura] (高橋知己)
4. Radames y Pele (A.C.Jobim)
5. Harvest Song [For Mariko] (高橋知己)
6. Believe Beleft Below [Love Is Real] (E.Svensson/J.Haden)
7. Spanish Joint (D'Angelo&R.Hargrove)
8. Strange Meeting (B.Frisell/鈴木典子)
9. The Saga Of Harrison Crabfeathers (S.Kuhn)
10. Minnie (M.Davis/鈴木典子)

プロデューサー: 明田川 荘之

レコーディング & マスタリング: 島田 正明

録音: 2015年9月9、10日 11月11日 12月9日 西荻アケタの店にて録音



高橋知己の急逝したギタリスト津村和彦へのトリビュート作

若くしてこの世を去った盟友を想い、モンク、コルトレーン、マイルスそして自作のBeyond [For Tsumura]を捧げる。

一曲目はモンクの「TEO」。モンクがアルバム『MONK』(COLUMBIA 1964) のなかでプロデューサー、テオ・マセロに捧げて書いた曲で、工藤精 (b,elb) と斎藤良 (ds) が創り出すダラー・ブランドの『PORTRAITS OF THELONIOUS』(VERVE 1980) に似たシャッフル・リズムにのって知己はテーマを丁寧な吹奏で吹奏している。

知己のソロが終わると、リズムの3人が活き活きと動き出す。

生田さち子 (p) のピアノ・ソロのつぎに工藤精 (elb) がエレクトロニクスを駆使してソロをとるが、その背後で斎藤良 (ds) がハイハットでうごめき回り、さらに生田が活発に反応する。この3人が有機的にリズムを創りあげてゆくあたりに高橋知己カルテット現メンバーの結びつきが固いことをあらわしている。

(2)「WISE ONE」はいわずと知れたコルトレーン『CRESCENT』(Impulse! 1964) の名演で知られる曲である。

このコルトレーンの演奏を知った上ではテナーでこの領域に踏み入ることはできない禁断の領域ではないかと思うのだが知己はソプラノでややテンポを速めて吹く。エンディングでテーマを丁寧に力強く吹く知己にトレントの精神的なつながりを感じる。

この『WISE ONE』ははからずも昨2015年急逝したギタリスト津村和彦へのトリビュート作になった。

津村和彦 (g) は昨2015年6月17日、58歳という若さで亡くなった。津村は高橋知己とは20年ほど一緒に演奏をする良き友であり後援者であった。

知己がこのアケタズ・ディスクでの10作目をつくることを思い立ったときには津村を入れたカルテットを頭に描いていたようだ。2013年に食道がんを患い闘病しながらであったが本人の強い意志で演奏を続けていたからである。しかし、昨年の5月27日、横浜エアジンでの共演が二人のラスト・ライブとなってしまった。

高橋知己は本アルバムを 津村和彦の追悼アルバムとすべくゲストに津村夫人でヴォーカリストの鈴木典子をゲストに迎え入れてこのレコーディングを行ったのである。

アルバムの構成は前半の(1)～(5)が高橋知己カルテットの演奏で(6)～(10)に鈴木典子のヴォーカルが加わる。

(3)「Beyond [For Tsumura]」は知己が津村に捧げて作った曲でモンクの『THELONIOUS HIMSELF』(RIVERSIDE 1957) の「モンクス・ムード」に似たおだやかな安らぎを覚える。

鈴木典子 (vo) は (6)～(10)に加わっているが、マイルスの『The Complete On The Corner Sessions』(COLUMBIA 1975) に収められていた(10)「Minnie」では自ら詞をつけて歌い知己のソプラノにスクアットで絡む。

カルテットのメンバーの支えに感謝しながらも元気に歌っているその姿勢に共感する。

選曲には日頃から幅広い音楽にアンテナを張って身につけている知己らしくモンク、コルトレーンからディアンジェロ、ジョビン、ビル・フリゼールなどからマイルスまで異岐にわたっていて、ジャンル・フリーの知己ならではの構成である。

『WISE ONE』は津村和彦のトリビュートであるとともに現在の高橋知己カルテットの普段通りの音楽を素直に表現したものである。